する規定を除き之を朝鮮に施行。 産業統制法)は統制委員會に關 昭和六年法世第四十五號(軍要

別以本令は昭和十二年三月十日

情の下に外地間と商工省との意見

| 戦闘に衝撃されることなく外地にの指定艦に続脚は銃脚は近脚法による委

外地施行に開しては従来特殊事

|東京電話|| 欧正市豊産業続制法 || 殊事情から朝鮮に続する|| 直要産業

拘束され

安園成り二十三日の総内閣議に「練彩を米し避姓されてゐたか歌

いて左の如き動台家が秩定され

一、統制委員官は内地産業に對し商工、推務兩省間で揺螂の結果

と主張して纏らず今日に至つたが も脱階の委員館を置くべきである ルーに於て害名せられたる海峡一、一九三六年七月二十日モントーを決定した

九時年歌内に脳神を開き左記器(東京電話] 戦府に二十三日午間

明 制度に関する係約公布方の件 あっ 解しに関する係約公布方の件 に重ないに関する公件祭)を朝 幹に施行するの件

政友有志代議士會

およる主人(議士会) 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 にある自衆文武宮に関してはかね 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 河池井殿以来運搬園 「果京高宮」 「東京高宮」 「東京京」 「東京高宮」 「東京高宮」 「東京高宮」 「東京京」 「東京高宝」 「東京高宮」 「東京高」 「東京高」 「東京高」 「東京高」 「東京高」 「東京高」 「東京南」 「東京高」 「東京高」 「東京南」 「東京高」 「東京高」 「東京南」 「東京市」 「東京」 「

この際原側の敗止を行はず運か。内主なるものは左の如くであるれを代表して木村正義比より 大々認動場所の御沙家があつた、出腺、斉々認動と取り懸めた上こ 十六名式の神六百十二名に對して

朝鮮にも施行

意を表明してゐたが二十二旦至中 上日支外交紀似の融質を受けた題 失ふことになつた。後任外交部長外交先駆の責任を追求され歴に辭 るないが無限部氏が三中金額の贈 の引責部職により最後の知日版を

表に我が外務省に公留が到着して一般は 明天路を虚め今また張在部長 提出問題について、十二日中には「行政院長の発態をきつかけに親日

【鬼い電話】心能外な知長の野我である。しかしこれがためまきに

温を表明したことは書祭の取り行

知日派最後の

器を主力として三型英値が出資の時級北線は政府では行は子寄の時に、政府では行は子寄の時の時間のののでは、

八月二中全館の盛上、

ける閣議で正式決定

日系文武官

大脚心が強はれてゐる の人選は精楽の日支刷網をドすべ

野南相がチョッと脚を見せたたので大臣の出席者は見ま、

つと以底に本意識とカチ合つ

日午前中の選擇總融はて

伊海軍大演習

叙勳の御沙汰

に関いています。 を選び、機関の任実にあめ、 である。 では、対対の任実にあめ、 では、対対の任実にあめ、 である。 では、対対の任実にあめ、 である。 では、対対の任実にあめ、 である。 に対して、で、で、対対の任実にある。 にある。 にある。 には、対対の任実にある。 にある。 には、これが、で、で、対対の任実にある。 には、これが、で、これ

東幸太郎氏(宮町) 勝連邦項とし置 て重業組合の監督に關し政形に毎世 空を述べ午後等時十四分休息

河原田内相よりたな容録あり、坂

崎農相 興世のみに偏

制して如何なる所見を有するや 村上氏 ・ 競相は工業の振興に ・ 久化は網暦に心理である

間を政府はどこに置いてゐるか 村上氏 関色經濟力元質の基

とて種々述べ山崎農組との間に

山崎農相 經濟是生の恒

村上國古氏(區政)在

|年前十時二十四分開西|

のでは、いて、共同經費などの方法 組合調査機器を収率する者へは、 は、いて、共同經費などの方法 組合調査機器を収率する者へは、 は、おばならない第二には經費器 佐い

題を追及(衆院豫

國策の施立につき株肖相に質し

なく低調化す

勝無五郎氏の数友)立つて一間一答、これで蘇民南京の吉氏(民政)が既対問題について山崎勝相に、次いで加 中心として展開された自然的論範の後を受けて村上國 的十時廿四分後羅綿幽を開き巡日林首相、杉山曜相を 十時過ぎより開館された外大した事なく、緊急院は午 欧正、「「大市」は、香酒組合法以正の物形変質部が午前「早早度語」せ三日の議館は政策院は本意語なく商法 質問を終つて小僧僧の質疑に入り田裏演臣(此大)北

物金雄上げのための郵便法中耽正法律教を上程、展紛繁(層詞)諸氏より質問あつて委説別形、次いで郵便 事物では中欧正住総派、北海道都工人保護法中欧正法を後越しとして置るに政府提出の法律総裁議に入り軍を後越しとして置るに政府提出の法律総裁議に入り軍 即案を一括上屋、増田義一、坂東岸太郎 (足校) 石坂 委員館が出かれる、午後一時からは本館議を阻き質問 質問を なし一方敏時程 柔地微法 紫外五州の相称は紫青(第二壁物)野中微也氏(園園)路上り華々しき

> 大(東方)遊氏より質問あつて委員的記とすることに 太郎(民族) 山崎殿二(此大) 平野刀三(関制) 大石 (別)戦、経**後に禁虐を定に騙する法徳**殺を上程小山採儀士(足蔵)参木文治(私大) 兩氏より質問あつて要

法案決定

| 関う製造野菜の中葡萄園にされ | 方針と更生有指定の目標はいっ||名の代行や脳を急速に設置するや||村上氏 | 私は産業組合を引て | 村上氏 | これの | これの | これの | これの | これの | であり、 (質問) 「東京市語」戦所は二十二

の院内の環境で左の諸法案を議論

世 大を訪問行去代議士録の後間を製 で名用、本意画氏は即佐安康館事 大を訪問行去代議士録の後間を製

南田に関して二十三日特首を以て 春位一様を辿められた 田田の贈一等。裏田・北袋 は代替言を見て位「祝乾迦」 人臣羅田弘彦別大師大臣出級領一人里原電語】 民き巡りでは前級地 橋口所長を派遣 國際報道会議に

【東京花話】 国際認道會議協會第

なつた

北支の現況は わが希望と

廣田馬場兩比被進

漁船再保験法中的正氏書案 十三回動は来る五月三十一日よ

ー蟹を始め主力能力変その他イギ 定した、右次部には正とロードネ

土國政府庭政一新

マンカラサニ目園盤」トルコ級 スなの語、どうしてつたったに、ほうとは音形するとなった。 「一般に過度機関の全分針に重ら原城一新を そうしてうた。いら、「一般に一般に一般に一般に一般である。 「一般に一般などが、大きないでうに「いっている」。「これ他、行他の支援に果たのない。」「一般に一般である。 「一般の支援に果たのない。」「これ他、行他の支援に果たのない。」「これ他、行他の支援に果たのない。」「これ他、行他の支援に果たのない。」「これ他、行他の支援に果たのない。」「これを云でられる」 を起草した から重要全部門に耳る温泉経動茶 内産業の保護施に質点天然の思地

英地中海で大浪響

「日那は、お那様がお都里(なびます。」

「たに、削が忍び込んであたとうになつ

おころは手術頭に乗村を振り返っさるでうなお人に云ひ霧をしてまてるた。

お金に産債が調まられのであ

完二

「はい、果れたお人でございまって。もう一度気つてごらんなるだ。

別する」と言及することに製取され既に加泉的に「主催の完成を

見言内容は二十一日の大師で緩和

地を反映するものとして各方面にれたが右宣言内容は側便政府の異

本政治院は中央の職と合用三月 鮮內私鐵買收

| 「「「「「」」」では、「「」」を発している。 「「」といっている。 「「」」といっている。 「「」」といっている。 「「」」といっている。 認品局の基礎異化計数を握着、大 はれるがスペイン駐削大使ローゼ 軽肉基盤の固含一定化を目指した。外炎師の順新を企蹊してあると言

に歌りつとけてあたのだつた。 ぬか。それを見始けたからこそ云つても日を懸んだまゝ噎のやら 聞けなさつてゐたのでございま

お仰は始めてはつきりと返事を一般を細めに跳げて堕つてゐたの

合致する。「を開州上國民政府の之類政協の仏虫は我方の北支魏軍に

たるに到し林瀬島外相は寛東蔵祭

◆長谷部熊伍少將(荷罐縣託)

一一一線の資牧を行ひたいと思ってもの場合は十二年度計聞を見てその場合は十二年度計聞を見て、は国難ではないかと思はれる。

◇日上調信局組更施長 単二中4一二日午後配任 天地立黄

温暖の上にも 微地の 武果あ 神殿心の復活は神國日本の国

の電流を呼上弦・即向行の動き 「いいえ・耳が纏・わたくしは恋」なに縁じめられ を問題の形式は勿範、局を一行 「いいえ・耳が纏・わたくしは恋」なに縁じめられ が込んだのではございませぬ。」 「よい / ヽ。 「たに忍んだのではございませね。」 ございます。」

は、近年・「世界の一年の一日によって、「一日に、行動のお文庫にするりでは、近年の代表の「一日に、行動のお文庫にするりで

人能は勝問題で四方八方から

放置だけが ら、おころ様が先つきから何度も 変更は新氏 お支度においでなされてみたのな

お尋ねになった時、なぜさら仰し

内根本政策を小院する宣言の方

蘇聯大使を異動

けふ水浦

今回の大河西は一九〇〇年生れか

海軍特別大演語を総行するがムッ きでイタリー前リピヤ神において 政府は来る二月十日より

> が一個見えず、ラギオで呼ぶや 刻の原用になっても委員連の問

ることになったが、さて定

一これちで説析にあんすり強い

ことも云へないと」と頭かさか

らの雨であったが一行は午前九時 の機関巡視第六日の廿三日は戦か 木浦にて寺田特派員数」南続音

石田本府鑛山課長の歸任談

合において大阪雷を懸行するに次一日を帰しジブラルタル民権助神 五日間に亘り壯烈な海上戦を展

ころも乗も、わらばが聞る壁に

本日タ刊



その他お怪我やキズに

消炎の各作用が患部を癒して 力が化膿を防ぎ、鎮痛、止血 アースタムを擦り込むと殺菌

の場合に重賓な家庭薬です ひゞなどにも大變良く、危急 軽快にしますから、あかぎれ

女に母しめられて、く、口惜し そなたはいってあ

葉庭家の産國

「さらでございきすとも。行気の 一部の薩衛の抽出しが、少し開いて 「いっえの離ら飾りはいたしませ

ニキビ吹出物を防ぎ、お化粧下 キメを整へ、お薬のキ、メで、 すると、騒い滲透力でシンから

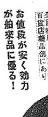
アースタムをお顔にマッサージ お肌の美を約束す

EARTHTUM









宵ぞ、大演奏會!

通りの本語から日本形法谷論を萬一

研究の傍、府内各種場場が門に流

た、去る一月廿四日午後四時、ろ

京城内部町一大〇神道郷さんが通 してゐた怪骸が網路器へ加へられ 天時れ城大生に成りすまし、本町一引、どうすれば法綱を高れるかを

近で日本形法論を裏引の気の傍らるかと本町一・二八内器定一郎本

保証を実はせてゐる

假装、先づ法綱をどうすれば遙れ、トバーを破取人質しては最近をた 既命(こ)で正月早々から城大生に中央、金剛各種球器に現れてはオ

住所不定金 ーバーを失敬した外大原、〇・K

去る甘四口青島で町配二千面のオ

念の入つた泥棒

法律の裏を調べ

半島樂壇の嵐の如き歓呼に答へて

jν

マン氏朗かに入城

駅車に城大の御股間を着ったた

は二百圓の即機をすると、頭頂書へ

へーを綴ぎれ、蝶してくれる人に

時價二十個

の毛にオー

温泉を分析

既に客局途の間にはアットオーバ 部年が連襲と現れては引えその度 届出犯人理査中、経江湖沿域の温

が無いと聞かれてゐるので同者

見て本社の心蓋しにスタカリ諸足、今夜の結成を心に描いと所民館でピアノを試蔵、防責法器、その他の諮問などを ホテルに少難したエルマン氏は三時から作奏者パドワー氏

春の下部地域を評切るよりの復年主ミッシャ・エルマン氏

出迎へをうけて服かに入城、直もに領鮮ホテルに入つた、つき々でピクター闘協者、ストデニー氏、本社政等を数の 藝的棋長。善一郎。を早ひ廿三十年後一時卅五子着々あか は伊安百クラジミール・パドワー氏、砂野イリヤン氏、関節

もなるもので、此簡素では昭和十

|社殿から一直線に存の転配が過す||るが北行列車を設は了銀客の中間||泉方面から駅込んだ||均占名の

けふも百餘名が京城を通過

談美視巡督總南

北行

天に向つた第三列中には大邱、金一畝は、廿、卅名に上つてゐる

と呼ばはり

で喉をつ

4所は関係では、成般の如く昨年末

問題問格思該曹を開催するととな の親立中であったが此壁製剤を完め来金飾の労働者情報調節に就い ので函々廿五日本府に労働 民合同して高胞を交換する 本行としては労働問題を取

などは今回が最初のことで、年島 し野成するま

從來外國駐在道德面別

野和するで明述され数判長は去京城地方は記で川下裁判長属、五 の公報は廿二日午則十一時半から る十六日の松単末形通り敷枝七年 故齋藤子の 三部国の同規定欧正協師を行ふ雲に基づいて際国局、前部でそ 巻サービスの軽階版大を目指した 時代館を加味した並度削引始め低

先づ勞働調整の爲

懇談の會を開く

將來は委員會にする計畫

大意氣込みの柳生社會課長

6一千五百頭、新規増修計後による三十五百頭、配羊塩の分 不断の極手増加制造に伊ふ本年の緬手聯人は従来の計畫によ 一百六十頭その他で総数六十三百三十頭を購入することとな

平南と黄海に種羊塲増設

緬羊朝鮮着々と進展す

寮班から、第二次はニュージーランドから関入する故是であ

を測定されるが目下の處平南が有力減されてゐる る同任本年新設すべき極筆場の位置は平層、黄砂層位の適地

本年は五月から七月までに前後二回に分け、第一次は

ペルメル

受け的に外答誘致に柴出すため 原オリムピックの創能をひかへ この敗正の中主なものは来る泉

總督の宿舎を訪 三翁の涙

配した粉章の上に友の字を冠せた新マークは現在の丸に五三の桐を計四日から使用することになつた ら数集中であったがこの程決定

優れたる ジャム

J. H. 秀

飲み易いか

粉成に

風味 爽やかな

上曜日・年日〇日曜休べ

前辱知諸彦に華告仕く二十三日午前三時父森丸太平儀病氣加

氏の寄附

会と惟し

一回西暦品即曾要月投典式は◇朝鮮西地関省京城支部主催の て舉行される 一時から所民館に

(《『で若いのはその統領地(《)で「人は「あと七年です、出來るだけ「死職が誤者した東文門器で機能中主人に名誉が自己過度量ので表書し、最初で長丑して丁さい」と述める。外職批判議は上流(男女別不明の

説さて段生して下さい」と認め老師さへためてゐたのを題情は「百

老人は全南光山地西倉面の金島由

人の年老いた順解人が来た

厳意たらしめ鮮内は勿輸内地そのでは、これを分析しその事果を一目とてこれを分析しその事果を一目職に金額の有名無名の過患を取済 だ完全な調査資料がなくその利用のはあるか、その方法は匿々で沿 の上にも不便があるので本般的生 領域を所に化理的分析を行つたも に就いて測算したものがなく併台 紹介し観光客総数の一方法と 製 選 全 全 東北 東北 北西 北西 北西 東至 東至 北田原作の歴史の英 半路にあるの方 後めらは開 型でれたり 後には縁 後めばいい

第二、は十日当州邑内紹介衆主都(京・城地方で西北・岡の館館を受取って終定。 [明日] 暗線氏からカッエーの女媧にならと。 [明日] 暗線氏からカッエーの女媧にならと。 [明日] 暗線氏がらカッエーの女媧になっと。 [明日] 暗線氏がらカッエーの女媧になった。 景【明日】北西の風晴れたりに川地方 【今晩】北西の

置が影響門に近ひ帰つて取闘べてゐる。且下任自殺を食てた謎の死因その他は不明であるが、怪自殺の癒さんは附近の節語を流れ という。 できたい 一、明報部に突動し自殺を企てその場に パラタリ倒れた、附近の人々の申消で繋いて駆けつけた西太門智忠半面駐在所が飛頭し頭行の人々が樂すつて大騰さをするうちにこの怪を人は人々の懸ぎを尻目にこれみととばかり右手にナイフ持ち人々が繋が飛頭し頭行の人々が樂すつて大騰さをするうちにこの怪を人は人々の懸ぎを尻目にこれみととばかり右手にナイフ持ち人々が繋

「自朝十一時」ろ原城が内の北門(戦略門)高さ約三十尺餘の前上によらむり「嬴戦!)」を連ずする八十線位の老人を通行人

あれより

へと騒ぐ通行人

| 歩く七十四歳の。洪さん々と呼ばれてゐるルンペンで、結局生活に追ひ詰められたのではないかと見られてゐる。

陽由感光網



その結果を公表し 観光客を招く算段

か、然しべた内地在生者のうちに、朝鮮には有名無名の選果が五十ケに紹介せんと力能を入れつくある、鮮の宣傳に努めてゐる。ところで を行つて大々的に頸師の翼を世界 な遊れるとつてあらゆる機能に頭を折ば外谷砂数策として各種が脱 フーリストビューローなどと緊治

本時は記述員を初め、観光観響・しれてゐながらこれ等選素の歌力等も真の頭頭を知らね着も繋いので「所もありを認の頭頭をとさく云は

春雨に泣く娘

放子間の遺憾を思ってととこつ

示第九十六號をもつて超後された

今年施行の

京城市計

この内隷式の通り

白萬坪)を施行することしなった

大幌町方面約九百萬平方米(約三

で地主の施行級可申請の短限は永

夜の街に母を尋ねて

☆ 廿三 1千回 1時にう京電観もやん | 等奏客の最適四川池県明血重が引撃が終れて見ぶが終宅の途中開発出 | 貫了電気・1・がキー人の反動から列車 | 1月別立で貼りしきるが間にショ された

で脱進で酸型生れの高度取さん。 少女を翻記、細路製へ超け出た、 シボリ温れてシッ (/ 並いてある

鐵道運賃割引

オリムビツク團體は特別扱

小兒は六歳以下無賃

枕木に注射 不足を補ふ

たものを途方にくれてゐるらも、一を終和するため鄒重嗣は今後就不 には所属がを注入するととしつた 供給不定の状態になったのでこれ 木材の不足により郷直局の枕木は

母に叱られ
京照視底町

ら不都合な自動ルを捜査中 間したものと触り、目下保護の傍 **疾走して來た自動車に切ねられ**資 かしの肚を得ねて廿二八夜人城し

娘の自殺

明川稅務署も

アラハタ

数二月廿日 数日

官文 総 樂響

ビクター名盤蒐集クラブ・三月新譜

熊

党債金拾四円 定債金拾四円

B

T

東華洋行

郷図コーナニ香料管地代理品 (日本) 原 液 染 料料

水料

開始開始用

着

Ē

ママンード

候也
死去仕候間
此改生
療中の
處藥石効な

昨秋の高齢者表彰に感謝

後周子らしい男に伴は一匹頭して昨秋の恩を原始に限には一度い子間着である 総総式蔵 ― 関節地視 を認とし間骨機械と関き光州より 歩いて縁つて行つたかこの老人に投票 が観音に 関する の高齢者として総督に招かれたの | て下さい」と会へすたとほ/ / と 光州 農家底館(廿二日)ので 萬家族館で即暦に資ふや平身。二人、安藤一人もあるといふ目出 【光州にて寺田韓震員】「老人民国さんは昨年秋八十歳以上」長生しますが、あたたも幾番にん 三里も続れた西倉より歩いて来た。は子供五人、孫三十二人、母孫十 へ社資事業役として金一封を設開せれた人員明追告のため和光教団が東太郎、旭町徳力優一郎財氏は

ユニヴァーサルが春に誇る近代調映勘

グ

PROGRAMMA AND THE PROGRAMMA STATES OF THE PROGRAMMA ST

死禮流るサニ日野京城府

大氣線報(井四日

・味躍如たね によつてい この経好な

映畵の妙

キャロル・ロムバートウイリアム・ボーエン・激賞のい

(今晚) 强

成北古州生む李

一するな・十分) 万番州 神経 (二十二日) 年間六時二度三元 するな・十分) 万番州 神経 (二十二日) 年間六時二度三元 中間六時二度三年 (二十二日) 遊覧を使した。

ť

ねつに

Ø

社會式株堂天藝 首北區大

リウマチス 神經痛等の主効薬 膝炎 扁桃腺炎 部痛 はしか 感習(風邪) 流行性感習 耳下

i 🗖

割

措有

間。

山エンタツ・花菱アチヤコ・澤村貞子・堤眞佐子Cololain音を合作品大谷俊夫入社一回(監督)

ありこの間に挟まれて西比利亞米部から簡単、果支那海は涼塔廿三日朝の天氣機況。 高氣魔は北支那と本邦県万治

京城旭町 京宣

電話本局監話

『王星』ダイアド黒線赤線型

參本**剛名是** 店商郎二大井櫻 館

心臓を置り・思かに解熱す。世間を質している。

少女の胸は躍る

戦が印されてゐるからだ、昨年の ができ、雪の上に匪賊の逃げた足 第一見苦しがさくし遠くまで追覧 である、冬は討伐の書き入れ時で

活像に行動が出来たことである例 記語の製造を元費したので非常に 業的であるのは第三階条照討伐

一部落を置り、膀胱の核長地區を狭

遺言に勅諭精神を訓す親心

平壤飛六·愛國佳話

部隊は例年にないこの冬の現象を

岩炭酸と協力午後八時に行動を起

ップの釜山高女枠入試

新な興味を湧かす

主演せしめたことがある、現在の

んだのでその旨やうやく通知が来 市氏の遺言により義人さんには何

よつて近に过能検査、日間試問に地比か加

工補校移轉中止の縺れ

内務部長の要求も斷つて

阿情の意を表し一同水を打つたや

協議した結果、初一念は絶質に曲一條代の工作を進められつゝあるに

く相すまの

古市內務部長陳謝

午後一時から角壁旅港に現合、こ「館を開いたがそこには意外にも沈しいよ一座にこの内が部長の栄養は、 問題がこうまで進展してから差別として変現館を解題せず廿二日 のため午後二時半島(親を待ち)観練「署長以下高等批事、新聞記書館としに続いて大阪選びての際にを打工業規模認改」の日吉津郡守、諸田邑長は邑諸謀「郷れた四道議及各委説でれに泉川」は市内将部長は北部なら歴度を診断を設定して上産不配「現れた四道議及各委説でれに泉川」は市内将部長は北部なら歴度を診断し、原語など前の歌にも丁業規模認改」の日吉津郡守、諸田邑長は邑諸謀「郷な面掛もで古市内御部長の憂が」と現場を披露してから差し

言々何々斷腸の思ひを持し

ほら穴や山寨に潜

4. 大個書田南道語ら交 | いてのた内閣部長も退船第2世の名詞を合題に引き | 五分、難いて善後策について

本立つて報題の意気を意識に引き、た分、関いて直接を立って報題の意気を意識に引き、いつ来つべきとも見えて結局へ自の状況に関比や回の単純に 初一念に同つて誰なことになり年 最したものでなく平楽書目生が逆一後 土時事 敬順した

恐以時怖代

入り、ついで金斗河流域(加養) 起领大郑梁遂行、水流對、

声が血管を犯すと

例のからめ子で語めよったのに、れた、態巻して午後山時歌館した。 の土木智、李直来離戯(四國)の 一類楽賞、高田展古職域(金泉)の 一類楽賞、高田展古職域(金泉)の

脱疽に罹る

め本社支局では左の規定により城津小唄を募集 城津港の修築と惠山線鐵道の開通を記念する

ます。奮つて應募されんことを

彩中の質量で大陸にも電力を二十下の影響制料二親支那人手励等にに一名の観が入り、家人敷名が一人は情果餐生れ質釋安東縣五號由

見上明五時半三一けて長谷川主張以下製食。

氏一本等に連行して取過べた結果、

前科者中國人ご用

銀術があり送になる

ベルツ丸は、龍点性の高能限を

お奬めしたい

切斷せねば治らぬ梅毒 血行が止り足趾が腐る

追跡格闘の揚げ句

山西季京銀万明の

格闘の来

明け衝突を飛び出して自殺を遂げ (ここで嫁入り先である江西部から 数ヶ月時前つてみたが最近精神に 大同正常に女の犠死體があるのを

際どい所で化の皮

動脈の内面に、提供の病療が起る動脈の内面に、提供の病療が起る

なにも明はる 動のします。

、外税艦の大手(上隊な人は、一艘の艦渡原立をお選する着りでな」して探訪や前板に移縮かあるといい対に思想される。

製には勿顧、随個展で道機翻試、 個くなりますから、蒼海とか難 しつが、ひえば、神証節、リウマ

網羅か止まり、その結果逆の趾が「傷の危険を失るには、細液を滞化。化と共に弱勢を去るのですから、縄縦こと能験なので、このために「ります。例えじし、細液を滞化。化と共に弱勢を去るのですから、縄縦こと能験なので、このために「ります。例えじし、「

には心臓を群化し、配行を強へ、するのが、何よりも従嬰で、それ

ルッ丸をして、洋の東西に銀貨をで、さればこそ、ベルット出って 高めつとあるのです。

體局質問に好かあるのも當然な話 た連股して副作用がなく、組設部

と、解釋といふのが堪れる。この「腦溢腦や心臓感痒に倒れる事もあ」読をひそめる能力があります。

もあり、また要風帆に生命を称ふ 吹出物で重勢は、展用につれそのが、爆震壁であれば鹿星の框號 され、横にむみを掲するキと様の特に動脈 硬化 ・ ス等にも、当般なく効果が悪神

り飛ばさんとしてゐるのを平場習

一般に採用されましどいところを卸 お芝居强盗

方皆成金は四、ことは一日午後ル 時前郊外沙上郷附近で頭盗のため 集金を飲む

的婦に浮れ

室の中は何かおかしいで一様

あらばれる 部が「徳水哲」」形 法語の一根 話にも収る意味 して聞もなく、突然この恐ろしい を卒業して、社会に一步を踏み出

何んと父郷からの諸欧概意によが、その般塵を満べると、それが 悲しい運命を

ら、その奇妙。そこに大切でありつて極悪を及びすのでありますか 起るので、気に中 梅になるのも、 ふのであります でなく、脊髄を が子供の母に至

は云かなもありません。 果実工の の子息が、大學 足を明確した

一種酸性灰田物ニキビ、鯤鹿の皮膚病 記し極東世界第二四線 ひえ歌、せきずめ

簡単が単当 京成田…新井・木村・芝山田…大黒・高田

つくまで頑張る 學議なほ飜意せず

正業學校設置に関する過度を詳に

ころを内務部長に御田を卸つた 次第でこの後期回に抑くかは私 本本自選に對して認る。 行きの他を近ってある。 行きの他を近ってある。 行きの他を近ってある。 行きの他を近ってある。 行きの他を近ってあるので自分 近さの他を近ってあるので自分 に関連の良心により急等に虚否

締切三月

審査及び發表。本文局の姿態する派像をは哲学所立のは、月、

で五類とし一節の後さは職等、一人一篇とす で五類と**前と**を大家的に表現したもの

一等(150)金百里、二等(150)至五十里、住街

一十日までに到着のものを有効とす

青葉ま方の塚小園を破つて一匹の一半後十一時楽譜道帯側田面温幕河 て同家製山で足たけ吸び残しいづ一内食田里一五金五大の二女童化玉 でもが春の時間に乗つて盛んに人 「大郎」で起りで飢えてゐた空航 | その他は未津やまこが最低の自殺

警備道路と電話の整備で

掃匪工作大いに捗る

隊を踏ます

期前はは成果が非常に現れたがこは終了したとは言へ今後も引動する。ち、ち、 #計せたない。 で生きてゐる屋のことだ、本名 上版つてゐ。。 たほ院紫冬町武伐 の田城に廃え強いでゐる里人を記 れへか消えて行つたが、この智談 後年降の他山河報徳海方の豚小屋 夜分は婦女子の出歩きを挑じ近り

名でいづれる異性天然度と珍定さ 在順(テ)景町丸一元古街(よ)の三

は地生的でき中心に臨時

※を奉戴して忠任党國の董碑を登 慰売し下士/音以上が鰥遠し世国の 在は、選号には、年 五人に 匿つた動 あった、際へ聞いた同様では旅く に思言の網雕、消散を施行した 大邱飛行場

一 並来の愛國英談として戦争院長は一た者でこの歌にしてこの下ありと 心から続きっとの意味が既へられ 米俊船長として鬼がに帯聴してあ

兵数首の資料にと翻奏するところ一言はれてゐる

ひ、その任務を至うせんことを裏「香気を塗った、義人さんは人登以

定だった大昭飛行組は未だ場内の を競正、この二十日から解離の豫 【大邱】去る七日から飛行機調査 使用を禁止

|のがあつたり、交は山の中一柱渓 | れを匪政治安工作の類である縣境 | 明朗化は近き解来にあるものと臘

の由海暖高な地區まで完成したい。信してある

嚴父の長逝を秘し

りに加工し、ケ所に三十人もある。」整備電話の施設があるから更にこ。一等力すって、であるから東議道の

結本工作の集骸部落、繋媚追路、

現在の工作方針を押し進め開放を

して寡動の詠地なからしめるよう

を語り或はホラ穴を利用して念人

一里も二里も離れて山の中に山水が伏してゐなかつたことで道から 見た、それは匪賊が今年は屋内に

一型に関する智島の厳重な防災

に支配を設置したい意同で来る。」 「永賀酒」京城牧野館では始興山

は にさへぎられた部分は、全く繁養 にさへぎられた部分は、全く繁養

梅華と地のと

極毒性吹出物に

起ると他権か出来るかといっと

察院を起し、前

動脈に梅毒が

丸の内服原法を離方にも 代別機能を充分に働かす、ベルッ

でするなぜ

日同間常務理事以城、西大門

ります。勿論、道際機形からる後

そして生々し て来るのであ

西州特所政務派長さ来市、準鑑で 其間的打合せを行ふ言

い足が残るのですかい、その添縮

矢温草でに市戦自扱きの基所に獲って作を脱目に、二十日一名、計三名の新趣語が一工作を脱目に、二十日一名、戦ニ 思は本町五丁目川村トメ(三)同金 工し形民に衝動を興へてある、新

今月一ばい

鐵路に消えた青年 身投げをした人妻

石さ二人の男女…… | 時二十分版定地行第五二列順が順

の実人耐難に一様元星で浮れ期金が、取調の結果沙上瞬間で鉄進店

申告と判明拘留廿九日に送された 大望の薩摩守 大邱で足止め

地もほうまむ容ちやもの、ほんや一〇

コンデション思言ため今月末までしりしてをれるかつてんで全北生れ

「大邱」と北道曾第三月に廿二日 | 銭(安東)前月に続き質問を既行 權議員十八番失敗で恐縮 三日目の慶北道會 四人は氏主でれとばかり距離し、「自自した、たに収金階長は膨をの人は氏主でれとばかり距離し、「自自した、たに収金階長に引を置すした隣接、機工、産農等。を記取した。ことの人は氏されたというに関する。 一八一大十宮崎東部(2) ほ府四八 たまではい、が、明行を責は「小選」本継髪健縣伊予郡松前町一つて一旗あげんものと行為に してるたが経む下代と議院は語 「名思語して即所籍的部址を名置、すか~に異合はせた際はダア!して下代の都大院院選三部でも、と、別等といるものを持たした量でで、かつばりでは、まってすか、やつばりでは、一つはかりに二十二十尚大郎職で

脫

危

險

源湯に対すむこれ里に外なりませ の揺ぶのも、かうした内臓機構は 殿が明明化し、当時な強化

ん。それに

抗毒素の力か

計しい能液がするこのとなり、 楽物中の主解であるからです。 集結する権威を捕虜役留する力 動脈硬化に對して有効な理由は、

て順音量の硬化へ回路を訪さ、

ます。ダベルッ様を展開して、

代謝も之によりよくなるのであ

新核菌は恐るべきの

一次跡があります。 してみれば結核病者を死に導くのは 以上は自分でも知らぬ間に、結核に確つてまた治つた たの療法は果して正しいでせらか? **精核菌ではなくて、間違った療法だといへます。あな** 他の病氣で死んだ人の體を、解部してみても、六割

四の療法は唯一つ 即ち全身の榮養を増進し、 もと」の服用が一番有効です。 の爲には胃腸を組織から強める特殊微生物薬「離わか 核菌を影倒する様な抵抗力を憂ふ以外にないので、そ

結核に特効薬なし 治り易い病気です。正しい療法を行へ

こそ、大氣の清澄乾燥と、特殊微生物が「離わかもと」 ぶる治り易い病気だといふ意味です。殊にこの寒冷野 の活用によつて、治療の最好機となります。 むしろ特効薬がなくても、正しい療法を行へば、すこ 特効薬なしといる事は、不治といる意味ではなく、

殿わかもとの中心作用たる細胞原形質賦活作用 は、あなたの體內に旺盛な諸機能の若返り現象を起こ 病思部に新組織を發生して結核菌を財態して終ひます

新枝高の被膜を20年 京都帝國大學

日血球を増加して 結核菌を殺す作用が著しい事 被膜を密かし、また白血球を増加して、結核菌を殺滅 するので運かに病勢を挫いて治癒に向はせます。 ふ被膜に包まれてゐて、繋が作用し難いからです。併 結核が治り難い原因の一つは、菌がリボイド質とい 「鰡わかもと」には、リバーゼといふ酵素があつて

同様な主成分からなる新築「わかもと」について行つ た、精密な動物質験の結果認められてをります。

は、京都帝國大學微生物學被室で、「糶わかもと」と

災差 消化 落園 の綜合効果

れると肩が凝る。盗汗をかく。午後になると微熱が出 る。輕い咳や痰が出る。 い。全身に倦怠を置える。直ぐに風邪をひく。少し波 血色が思く痩せて來る。胃腸が惡く、食物に味がな

あなたがこんな症狀を覺えたら、必ず「離わか 樂養、消化、溶菌の綜合効果が、抗病力を強化し、病健康感が充實して來ますが、これは「離わかもと」の 健康感が光質して來ますが、これは「離わかもと」 もと」をお用ひなさい。目に見えて食慾が進むのが影 勢を挫くからです。 一歩で、血色がよくなり、微熱や盗汁も去り、次第に



際と節る關係の中に、三度まで部下を終れて、と 。配刷者の花と散った個種中佐のお話は、巻さ はなられ大切なものです。 一行させう、先生が大陸お詫びになります。

事神度湖中佐

んが日本人として忘れてならぬものです。沈み行

の批論は、學校で皆さんの修具の時間に、なくて 批な姿が立面な物質場面となって出来ました。こ ついてゐる。「指題引換器」を、ゆかると本館へ く顔井丸の甲板に、杉野兵野長を持ねる軍神の返 答さんのお家で毎日のんでゐる「わかると」に

ですから「那様野」は一概もむだにせず先生に置 おられた學校へ、この排版を無料で差上げます。

製

茫

锆 Ħ **ヴアキアはこの山脚を際して風雲を夢む中歌に居然重さをたしてゐる(近着のイラストレーテに彫面を感じつよもそれがおのが楽げるものであるを思ふて恋聞たるであらり、チェツコスロ**

を高める働きがあることが明かに 官に過ぎたい)を翻選せしめ機能 の体器でそれ以外のものは解散器

関係及び男性ホルモンの化學でに関する研究である。 ・に関する研究である。

上後も関係のはい願いは

成の中に冷かに宿る、恐らくは観測手であららその物にたつ人間の姿が如何にか試くまた弱々 脚面にくつと大きく浮き出た意大な関準。その後に天皇に向つて伸びる曜身の係級、見るから し力の地積を思はせる、近代科學が生んだ力の上記もこの力は一寸一分を忽にしたい正確だ情

カ◇の◇電◇館 これはこれ新典チェッコスロダアキアの山間であるか、

細胞が調合するに配合が良い様に ることが以れた、即も健康内生殖 之を長く維持するのみならず、見 ンは間に明他としての替長を興へ 面研究は臣にはめられぶ丸ホルモ

九が雌雄を不す本来助作品(即从及び湿

ると言ふ版本原則が科学作に説明 ての特徴を興へ見之を長く確信す

ことに属するか、陸近の業績では

方によつては壁に虚型な作用があ

男はホルモンがりない

ホルモンが別盤とし

映っとか、げにげに恐るべきはたゆみなく連れ科學の力である。だが父、人間は「科學」

正したものと復古師 鰡螭鋲

【秦雄の一例、平樹北端の樂説古頃から出

性動物を上級して之に当丸を移植また女性動物の引性化即も未熟女

機なこともが質が形をなり、他

と相切性器は急に萎弾するが例へば成熟離性動物を去勢す

程度まで助止することが出来るの際男性ホルモンを注射するかの際男性ホルモンを注射するか

すると男性的に遊びすること、す

た反対に男性動物の女性化と言ふ

のが配通である、特に東亞の に鈕(ウマミ)を設けられてかる ろかけるべきところがなければな の難は殆んど凡べてこ らない。

像面とすると他面、その背面は影 脱別としてゐるが、その背面な影 の大小で親語は平面的な板狀なのを

観を映像の具として質問に限る

例へば留ロシアから観点される時にの不能に駆すが、しかし都には 鐵の如く背面中心に紐のあるもの

一盟に西方の鍵は後世に及ぶまで

られスタンドが設けられてゐる。

鏡としての性質上、金融の鏡もけてゐる。

榧本

龜 (Ξ)

も敗は物にかけられた。ギリシャれて、既はそれをたよりに手にも

であるが、それには更に紐が貫か

あたりにみる鍵には多く柄がつけ

東亞の鏡に就てみてみよう。あつたらうか。こゝでは主として

型信制器から記見されるのもまた が北九州の特異な史前遺職であるる顔の多くはこの演録であり、わ

方、圓の鏡がいづれを先として

50

いつてもそれはどのやらなもので

さて方、側形を挑鍵とした形と

鏡 O

く雑の些節形分となり、時にこゝ 物にかけるにしろ、もつべきとこ例面とすると他面、その背面は多 られる場合には、手にもつにしろ

要からつけられたもの すた問鉄に鈕を削退した類がなく

用法から来たいくつかの形式がある。雖も鲢の大いさに比して小さ っにしる、鍵膜自動は孔べて ところでかからに金融の鍵には 基本としてゐるもとよ

科學の進步は

動物の性を替へさせいる――

男性ホルモンの話中

而してこの取の鎖は認路に接手で 方、周州線の鎖が行はれてゐた。 ※那 にかけての鎖には既に、他 く、その形は町幸な釧峡は 映象面も殆ど重に近い平面館でああって級も著しからず、鏡面 生れたかは今詳かにし強いが ▽線 れば飲缸であつて、米 異なものとされる。 の母秋戦國末から東代 大多數は波館に非さればこの他の 抑動的に作用して前頭ホルモンのが上代の古男から経覚される顔の 一方男 性本ルモンは線下頭壁にが比べの古男から経覚される顔の 一方男 性本ルモンは線下頭壁に の三國代の領はその殆どが米だ演 ▽鏡 ある。これに次ぐ支那▽漢 のやく早い頃のもので

を探した仿製館であるが、特にか、観が来ない標にしてゐる。何ほ間の影脳はそれらの中にあつても特、選ホルモンは暴丸のみならず脱橋の影響はそれらの中にあつても特、選ホルモンは暴丸のみならず脱橋をよっつ 鏡の組成されたもの、或はそれら

メッグの悪にとりつけられた戦も く風に統一された観かあつて、 またマダム達が日夕去りかわがて、だ方形のあつた例がない。耐もこ 製して 来たとこ ろといくばいへ ◇ これが鼓跳に貼るとその形は全

ようが、しかし近代娘のペンド

ころの形とみるべきかもしれない。この傾向は後期に慢に薄しい。平 してゐる。例(は宋熟雄性動態に)が「老李融」といふのは、それが 『孫之助』「最 助」「玉 助」の表にいのをみると、それはむしろ つゆも厚さなり鰡なりが著しくな キンは引光を到端して持殿能に男 代」といふ名があつた。 やらの部間の流し男を慇懃させを見いのをみると、それはむしろ つゆも厚さなり鰡なりが著しくな キンは引光を到端して持殿能に男 代」といふ名があつた。 やらの部間の流し男を慇懃させを見いると、それはむしろ つゆも厚さなり鰡なりが著しくな キンは引光を到端して持殿能に男 代」といふ名があつた。 やらの部間の流し男を慇懃される見覚すれる同意を発じ使して、ある古典 にとみからみする配付職、さては れでは形の大小に不拘面に反りの 際の樂浪古城から配見され 料にの関係を保つて互にホルモンの こくは近の研究で終つた。瞬下無

た急に影情する。即ち一般能が高さり、補助性器が認述し たらよいが、三十歳つの後度になるなど、風分苦しかつた。 だし、一乙とといふのも若い間も、丁 だと思った。

一 の の で 大 を が 助物の 種類によ を ン が 助物の 種類によ

とすれば前次の一種だといる気も

一度、育貨機して見たいと思ふっ何といる家の妓か知らないが、

分泌展を創題して得光に過剰な刺

質をもつてゐるので

いが、實際は動物の種類の種類の種句とのことを用はて水丸はない人間にキンを注射してから語やたホルモンを注射しても牛の性質が現はれる心配はない。

なり、其の内前距と場方は密等不前郷、中間部及び後期の三部から

めて行くと特殊の異 「松石衛門」だの「八兵衛」だの つたので、順々に挑けにはあられなかつた。 異然の機能に、藤 テコと贈ませるとすれば、磁分、 したし、「悪天子」といふのをこ

やらない 角標 二里・屋

脚路ホルモンを注射すると、器丸 文字通りなら、脳分可良さうな名。子」があつたが「伯龍」が誤読を れば飛んだお半投右衛門になる瞬「くつ」はチョボ長者の丘脈が出来たとすれば、そ間でもあるさい。 その職を見ないからわからない。役者のそうな名としては「楽山部」代しといふ名があつた。 「お学」といふ妓に、桁道ひの年「」も、必ずしも締が上手といよ 「一〇」はテョボなといむにし

ルマン氏『中市際以のアルベ人から』

垢

又

髪の あるエ

映畵ス

行の倫関がある。同胞共留何大神の初午祭を帰って時から同節中の江戸家女猫

◇洋醤ニユース◇

コ 一足草鞋の荒稼ぎ ド進出

の受害が属すが、泉間すど名乗つ。同年とお風景的を完了した。何間 の能縁ぎでたんすり関中をあつた「出版、年十九歳であるの能縁ぎでたんすり関中をあつた「出版、年十九歳である 駒子等もテスト済み、山田五十命 入祀、「リングの五部」「無に開興の五葉貫子、マキノブロから[曜] 軟職より際じ、昭和士平春、月話の男の五葉貫子、マキノブロから[曜] 教職よ者(類)第八子、東京監査の次 その古就を使用されて込る脚連二 の能視さでたんすり飲中をあつた 行で、縁近では目前から東ばへと 御小腹頭もポリドール・レコード 映跡スターのショード出進出大統一ことに目前を附川新迎スター和歌 から際のデビューする事になり、 ズ・レイナーと44ペー ◇===13・A・デュボン、フリツ フ・ラング兵政語の監督を招願 したメトロ社は更に今世「登の 調べ」で有名なデエフコ・スロ ヴァキアの監督グスタフ・マネ ティト段研究的を結んだ

は題の計画部に選集 の年ン共和を決め込んであるが、「夏城園県では二十四日平紀一時か下葉館である。これ」の工世智寺・計画の異直を異され、「万鷹の『名名』をご 京劇の初午まつり

化 鞋 下 容

めて世智辛いが此の悲風も知らぬ

者の辿名表が手に入

本人をも客をも茶にした名だと思

二五分常額選座 八木貫之▲六時 六時お詔(東)

るかと云ふことは二三十回では のですが如何に思彩の作品であ 質に我慢して紙々ながら踏んだ のことで批評家の私の立場から 回までも遊んだことはよくせき お花ひします、しかし、二二十

だといはれるはどだから少々 治、大領次郎などと陸を並べる近でたんに收入の軽さけでは苦川美

鼻息も

も荒いし、ご當

は女流大師所を出じてゐるが、

士の作品を小林秀雄が文學祭の紙 不思惑なほど作家仲間の人気のな

人だから妙である。その言語信

めて本面に入つてゆくものであ 長篇ものなどは二三十回から初 無責任。もはなはだしい ||三十回位置んで作全版をこき

一讀者を一持つてゐようと

批評家の私は知りません、私は

たドー言、あなたの小説が實に

でさんと、にこきおろしたこと

つけられては作家は立つ歌かな るから本筋に入らずしてけちを 信子は我國女流作家職一の程き手

震の小林琦雄と

のだ、簡素の吉屋信子がこれに

るない、それが異な酸性の小網帯

匙を投げて云々したことは重々

『岩屋さんのものを』 三十回で

ないといふやうなことを置いたも 回避んでみたが思劣で語むにたへ

別いて、現場は北小根秀雄年もに申

と大いにたんかを切つたものだ、

がばつたり顔を

雄に合ったのだから配置をはらさ

んとばかり彼女はいきなり立つて 「小桃さんはわたしの作品を供名

で題むにたへないと云はれたが

の言語信子も証を白麗して併向いと願答したので心臓の強いさすが

野芸をより

のる文階家の集。なんでも或る連載小説を二、三十 一部も何も出来ないと思ひます」

吉屋――『淺薄不熱心な批評』

小林…『愚作讃むにたへず』

(3)

2お顔が日に見たて美しくなる! 見違へる程美しくお化 も清掃力は石鹼以上! 粧が出来る **代紙下を飾ったよりも美しいツヤのあるお化断が出り、所は腕をつけても、また水は腕をつけてもとのおり、脈は腕をつけてもどのなり、また水は腕をつけてもどのなりをがしますと、お化能下なしにス** 一行・ウェルで対きとるだけで、石鹼や洗剤では溶ちない甲孔の敷剤でにある泉や形れまでスクキリと呼激に溶ちます。 理論の実容が分を臣牌の津部に最も効果的に果へ 元れる様な心配がありません。 お頭がシンから指すケしてどんなに寒くてもお風の

人の洗顔は です

町核選 鳳東 市販大 町本温棚本日市京県

歐

米婦

IJ

1)湯も水もいらず、しか E 3 暫くの間にシンから塩メケして別人の操に美し から上る時にきつくしばつたタオルでその形れを拭きとります ために毛孔が充分開き、獨特の美容成分が皮膚の深部に吸收され機お湯に入るのです。お湯の中でじっとしてゐると、獨熱の共情お湯に入るのです。お湯の中でじっとしてゐると、獨熱の との人俗美容法をお用ひになつてもステキです。 人の間で概念に流行してるます。明色クリンショクリームは 寒くても肌の荒れる心脈が少しもないのでこの姿容法が軟光響での間にシンから堀マケして別人の様に楽しくなりどんなに 新入浴美容法歐米で最近流行の で開那の形や汚れがグングン表面に吸着されて來す子からお過 れて繁晴しい崇容作用を含み、一方では特質の强力な清掃作用 ホンのこれだけの事で、暫くの間にマルで朋人の様に美しく 入浴的に、お顔にクリンシン・クリームを一寸前けておくと 入浴前に明色クリンシンを飼から頭に軽くすり込み 出來ます。

各番國大學病院指定常備發「活動の原泉」 抗力强化 マルゼン マルゼン マルゼン 大小版 ロッグ 大小版 ロッグ 大小版 ロッグ アルゼン 大小版 ロッグ 店商吉友澤藤

が行があの通りの監察が感に陷つ。このT部の愛園運動の現れとして などられたに相談ない。主訳者將 云よ機運が漸し圧んになって来た 大力で今後の支那を造り上げやうと すれば の事性が数年前に誕生したものと、そこで、支那の登成歌は今や機踏 の事性が数年前に誕生したものと、そこで、支那の登成歌は今や機踏 の事性が数年前に誕生したものと、そこで、支那の登成歌は今や機踏 に思り、支那本部の行政統一が完善代版者ではなかつたのである。民結果この一、二年その賈弘が大い。てやつた事なので観然たる民衆の 成した。それを説明する質例とし らうと努力して來たのであつた。 た。内を治め、外に對しては强くな一 既府の撮勢が支那の隅々にまで行一動をもりこんだものが遠行しつ 続する事に大産であった。ところ。なつてゐなかつた。それがドイッやらとした。即も別をもつて勇を「支那の兵隊と気ふものは文字通り 政機器の完成を物配るものであり **劇園の支那支陸はまさにその勢ひ** 「我くほって置けばどうなるかも即」も押しも押されるしない軍人軍隊 て来ると云ふ情勢になってゐる。 が堪能では支那が別園に泣きつか。一やアメリカ選りからやつて来た罪 やアメリカの力を借り日本を押へ るながら、どこにも反断の出場 はこのやうに獣米列陵の手に躍し」のである、父交形を戦米列極の言 ある。それに吹いでソランス、ア こぶを入れやらとしてゐるのであ 開拓の餘地の充分ある市場がある 支那には世界第一の、そしてまだ 見なかつたのは、中央政府の行 サコなどまで支那の市場を目あて メリカ、ドイツ、ベルギー、チェ 地政策で鍛へたイギリスの施は大 は今や支那財政の背景や支那の ものはイギリスである。 イギリス は那支 鼠の世録が大陸違ってさる。 市場 一連洋の大陸文脈としての面目 なるものは競か、からかさであつ「あるし、交際経要量の型の間で一脚へ行つてある日本の最高のおも、異にくついて来でいるになっ つくありこれに比べると やつてゐるのである。支那の市場 に中央政府の御機職とりを懸命に 優にしてしまつたとも出いるので したものでいる早く支那の市場を 一の市場をあてに列國は支那にカー かた。 てをり、中央軍の強さは日清、 の異が起るのは登員の何に欲しものであると思ふ ての戦闘が出来上ると、主心者が、重も共にそれは日本を伝統に繋やらってしてこのからに極寒とし、支那を凝める事も、支加を恣れ 園内的にも面目を一新したと云へ、『読しなければしらでい。そし ※お鑑正の破俗や飲水であり、網 さうとしてあるのである。あくてイギリスあたりの語のはばなる出しり、老龍の思想を関して生かしは、**・・・ されてしまる。それにいきかい、 来なと見るかげもたくボイコット」を失ひ、支那はこれす一のバタ模 て、こんなものは一度観月の風が、断米派といふものはいに日に勢力 上しつくあるとははれているカスで来たが、今には川ふかり支那 義侠心 で列頭は支那にカ を倒にして別線を手許に「き」は、動しんとしつできるのできる。 となるものである。日文質がは同 欧米の たといつてもい こ。長い間権民 産業の たつてるた故に外ならない。一ある。又一方中里軍人が観錯し 日本の 殊にその急先鋒となってゐる も、何ふの方から押すな押 一世へして来たのであつ に欧米列図の力を なつた。即も既治証リーダー版だ日本を押へるため が各地でららほら開かれるでうに 一といふ事と隣接 これまで内臓の銃 支那はどう動きつ一ても當然の事で、五頃の支那には **いあるか、** 根幹を掘つてしま 郁の尻おしにでつ それはまことに彼の支 中央は対によって 日本は支那を認識せよ であり、新介石は支那を今日の財 人民でもつてあるんだといる野 湧いて来た。支那は四個六千萬の 衆の難と、民衆の力を背後にして 獨裁的 に武力終略をもつ たでうな組成が假組肉家能なものは、文藝などでも、創文藝と云つ 態にまでもつて水た大立器である 事所間の手により、その兵器と共 は駄目になり、愛国精神や教國運 支那の兵隊と云ふものは文字通り 情勢も生れて来てゐる。数年前の 10。支那の際統備神とは北流の歌用して益々支那を強大なものにす があるのである。個内が統一され の十九路川の強さがそれを勧認つ 支那は今ヤチャンチャンではない | 登一るのは喧談子高な話である。| 前のそれのやうに戦速として今日 なる飛躍を遂げるかはかり知れた 歴史を持つ支那に比摩統精神が新 此思想は實に廣大無邊の事を考 一思想今以て支那人中に生きてをり 那のみにある際統指所ができに作 協議等時代の支那兵とは雲泥の差 が出來上つてゐる。上海事題の際 外の力によつからうと云言愛國葡 立派なものになり、一致謝緒して に軍人の素質もすつかり近代的な い。以上のでうた説で支那を一昔 しく生かし出される時文形は如何 ひなりになってある難と見るもの てあるものなのである。
五十年の 同日本としてはこの支那を厳しいのぼり振れるるの気にある。 いものかし、次第に皆識情様に最 軍備が 蔣介石 に別立するやうな でなく芸能の思想である、この い見がではない。これま 出來上れば更に支 補に観って生存 神下が変をまる。まる。 腰足冷 息切れ感冒産前産後こし、け屑凝しびれ 三王 効 Δ 月。逆。 經、上、 不、頭。 原。痛。 ヒステリー 肩疑しびれ 宫节 女性の の治療と豫防には 何よりも中将湯が と思はず 立ち止 額けて行くからです 的な攻撃を持久的に病魔を包圍し、徹底 胞が一齊に奮ひ立ち 全身の内臓器官、 に旺盛な分泌力を與 れますのは… 下腹疼痛や婦人病 痛いッ 一番良いノと言は 感胃には 男女共に 其のがに依つて 良効有り .20 .50 1.00 2.00 3.00 5.00

ホルモン臓器 女性美を創る

高りますのが特長です。 『作用総跡に無く、病臓から 脱も撃理師に複合したもので 脱も撃理師に複合したもので

振りかけた まるてお髪の一本一本が ません。 いつ迄もお髪に残つて消へ 気分です。 上品た薫りは、 生き々と蘇へるそうな快い は毛髪の帯海、殺菌、脈比の 而もヨウモトニックの一部 三作用を兼ね、サッパリと ケや拔毛を脚へ、ウス毛を ら築菱輝分を吸收させ、フ 町皮毛髪を浴めて、毛根か へる爽快さん 瞬間から

る正しい整毛料であります。 促して、美事に好轉せしめ 初期元頭に、称毛の酸生を 迅速に恢復致します。

天順村章 髭 錦本

伸ばす

サラッとして経動におらず、アイロン、サラッとして経動を頂へ而も医子に直接だして、活動を扱いてなる。 素素見の表すなできながざ、 森羊を促進する。 素素見の表すないが、 かまだられて、 おもにはない しょうしゅう

(祥獎•男子食用)

新研究の洋髪香油です。

(但し郷税は十五五まで

新麗元·東京·室町 (三共經營) 举 昌 製 惠 妹 式 會 社 · 定 個 小 影 下 1,20

SANKY 中川河博士諸遠 大阪 至 200 徳用版 至 5.00 (どこの百貨店・築店・化粧品店にもございます) 昭和十二年二月末日まで クラブ語(株式) 1回月 クラブ語 (株式の) 1回月 クラブ語 (株式の) 1回月 クラブ語 (株式の) 1回月 クラブ語 (株式の) 1回月 特提訪問着一者、籐椅子・装り、 第 台 一台、審音機 五事 ……三真四千三百名 五事 ……三真四千三百名 海路は海岸の田路は東北である。 准一等(聖品) … (左記の何れか一品) 電 料 ニ テ 一函、新型パニテイケース 一箇、 あかねモス著尺

クラア煉鋼幣(中) クラブ美の素石輸 / サラブ洗粉(特大) カラブ脳白粉(別形) #人服切地一着分、オペラグラス 一個 流行防水コート地 一区 郷人服切地一着分、オペラグラス 一個 泰華賞品が高ります。直接本錦にお送りの節は…… を明記して、本催しの販賣店におとどけ下さい、抽籤の上更にで明記して、本催しの販賣店におとどけ下さい、抽籤の上更にを明記して、本催しの販賣店にお送りの節は…… 子セツト 一組 (A-12) 一台、金糸入丸帶 一本 プラトン 萬年 華一本者返りクラブ化粧品詰合函 一函 行真出と 反宛 一千名 中国 グラブ美分クリーム懸貫係大阪市逐速區水崎町 中山太陽堂 三百名 五千名 クラブ綜合ホ〇モ〇 五千名

11 12

2 3 4

由アレ止めに、日ヤケ止め 白粉下なった合有せる大人県の若返りカリーな合有せる大人県の若返りカリーな合有せる大人県の若返りカリーな合うです。

の一つは何ですか?回考返り効果のある、特殊の原料中 クラブ〇〇クリーム

ーム、クラブコールドクリーム、薬用クラブ美身でクラブ美身クリーム(又はクラブ後白クリム 大懸賞村大賣出しのボスター掲出の店 またとないチャンスノクラブ美身クリ ますと、抽籤の上更に素晴らしい大賞品品を差上げ、左の問題をお解答ください 上げになりますと、その場で豪華優待景 ーム、クラブクレンジン用クリーム) をお買

何處

1700

PIUO-LOUIC

よいよ熟読程に

d

だが、どんなものでげせう」 え、かたん、雨観も一緒だし、わ と思ふか知らわえか、既にるせえ やせらっ石乏奴が大勢るるところ から……からしなすつたらよから んな災難を受けまいものでもわえ 込まれる利用は根準できたあの様 でも金さへ搬へば繋の襲まで上り

え解計なところへ出しやばるやう

すれで明つ純などはありやアしな へ組織な娘つ子が来るのは危わえ

「親分、それでア願つてもない幸新兵術へタと手をうつて、

歌破りの水野に見け狙はれて、ど

に引れば安心とは云ふものく、離

一覧に染るのは、

第三年の中の白間。 ・ 色能はげず、整代 是非お試し下さい

ち、わつちの家へ引取ることにし

学習で、而よ無聞

何もといふが、矢磯り素性も正し れつきとした素性の女なれでこそ こだけれやアいけわえる さらいふ

た恐人つたお人だ。第一八百屋源 ハといふ人が感心だ。是非近付き が婦人も感心だが、お削さんもま い、私が世話をして居ります」 での挙行を見込んで、及ばずなが

になって置きたいね。人は氏より、ばれてゐる人々である。 ふーむ、それやアこのお里とい一ぬ身の知る密がない。

といふのは、所副敷育な運命に奔 「さて新兵衛どん、お削さんの家

婦人の生命

けながら、互びにそれが戦らない 平内の許婚のお里だとは、神なら はなかった。 だから長兵断も、まさかこれが 今一息といふところまで割きつ

見してタナペ

「來るやうになつたまでの話をし」ると思ふから、好しも打明けてい

思心な女ではい親妻行

翠汉 **TOX** 玐

.c.p

贈品供試第次 呈越申御入記名聞新此

咽喉の騎士・滋強飲料

暖爐にはてる肌・まてる胸。

忍び寄る春の思ひに似て

秘めやかな見奮!

きのカルピスの



口紅の主張

赤が退せて出したのと、色素が根 更に、落ち方がまるで違ふ。

長 復一流の人生野母などで 大宣辞もの一人息子ノンビリ群左衛門が 小笠原金二

離れでどれんばなんだ、いや常い 〈持つてゐなせえよ〉 とといると、「你やつてゐたんだ。すると、ついてゐれや了好心だ、家を大き

の奴を重古人連れてね、土事の平一時にとつての災難、然し花帳屋が

「いヤ、新兵値どん、全夜は草見」んなせえ、飛んた諸に魅人られて

たわえ、まて紙物にもされねえで一つはい、何から何まで卸級切なお

無事に弾んで上々」

「くえ、それでまず飛んだところ

いきせんし

高雄。何とお魏の中 ようちゅござ

@御入郷の節は入郷勢と変

一十五銭分お添へいたします

森永スキーキヤーメル

石州の和野とたつた一書いへば東はやボロ(〜と恋の頭・ことで

◎池星期間一月廿日より廿八日まで

必らず御禄命下さい十五銭分)の 祭サフ

祭サック

何ひますれば、今晩にお里の飛ん

方おやこれは難疑疑の親分、唯今 左 に (後)八)

の思る離れ解散へやつて来た。

それすでにお里から、今夜の危

小金井蘆洲

勇

だところをお敷ひ下すつたとか、

親の大慰人だといふことも崩壊は 難の話かしてあり、長兵衛が命の

承用してみた。

重に禮をいつて、嬰の形態へ通し を連れて来て異れた長兵限へ、鄭

定張屋新兵衛は、平松からお里

で述べる。

ていか!、父さんそのお確立は縮

み人る。さい様になつてゐておく

即買求めの方へは闘時に 明 治 座 A切祭 (枚 (五〇数) 菓子店にて

の批談

英庭

本衙大 武明郎 電內田 建築 子子齒 īΕ 拱调 勇雄宏 **光暖無敵艦隊**

本的に遊ふから、のびて、濁らない。 明盤士博學藥合河 許特法製·諾佛米英日

抽

絹糸製 加納的其即問 其他鬼網釣道具 其他鬼網釣道具

御申込式第カタログ医量 京城永樂町一 商品人工资 圆圆

レめるマネキ 竹松 の W □Ⅱ□□□Ⅱ□ E 映時間 遊京日世界鼓撃ニュー 2.07 京日世界襲撃ニューフ 2.07 6.45 を竹京郡ナンセンス映版 長 著 息 子 2.15 6.55



の一顆は、ビタ ミック肝油ドロ

(2) 雪 夜 の 計 生入元 品田後・中野英治・伏と信子主河 十十日 (3) 暴 風 鍵盤 三部在汉章

質 白 畳 る 遺 を (機) 取 慢 類 糖の 和 路 る す 僕 回 之 氣 元 氏一〇名三士 博學運 問 颐 店藥・店酒・店品料食・店賃百 所資収 (1) 日活日活日活日活日活日活日(1) 二月二十四日―二月二十八日― 五日間 (1)極彩色トーキー まんがニナイト 亜雄典 (2)お嬢さんと浪人 大場所太明第二回主演 巨 (3)高橋是清自傳 後篇 問題工術 ○毎日遭疫連般入潜なし正午前十一時三○分より川路
○午前は一一午後八時三○分より

日活日活日 豁 楽 喜 日活日活日

世記頭 キゲカワ



世歌への挑戦 11,20 3.33 8.09 15 朝日世界襲撃ニュー 4.58 9.33 2.42 3.10 9.43 2.42 3.10 9.43 2.42 3.10 9.43 2.42 3.10 9.43

によつて化陸へお里一家が引越ししどを明かしては、平内の趾にもな と、新兵衛は八百国胡八の義侠」させて湍主の名間で良人の南字な の観覧い演性、娘に早しい動めを

の宅で世話をするやらになりまし ませら。このお里といふ女をば私 でございました。何をお膠し申し

固める事のために蠟を入れたから。 これは蠟、全然なし。だから荒れさ へ治る。 「口和は唇が荒れる」といふのは、

の脱油は、空温の薬が脱油に終べると、勝十分の一いで、呼吸、多くの小原校では生徒にミッケ肝油で、呼吸、多くの小原校では生徒にミッケ肝油があいから、かがした、感胃が減つた、等の好ががした、感胃が減つた、等の好が

へると日に (一體地が増す、物にミウワ肝油ドロウブス度にピクミンを興へぬと體重が減るが、ピタミンを興からで、それはピタミンの足らぬ事が主な一般だです。動物試験では之がハッキリ軸るので、一般で、それはピタミンの足らぬ事が主な一般で、それはピタミンの足らぬ事が主な一般では、野牧が不完分で新陳代謝が憩い

問屋の支店開かれプローカー

類は順風に帆 見易伸長に伴ひ

A

Ž,

600

1

ø

0

|\$6+65

1

Ō

Pot、白の順手 Pot、白の順手

十一圈

●●●●●●● 至至至光生业基本児

〇日五十三六五にッタベきだつた といい金関語者の音楽は足感される。 東はれるか、此手で五五の突然り なからうか、より有力では なからうか。

(巻を図る) (

£232622222

間の

冠

絕

के दिए का

酸土

(=

7

す

一般で

です

0

す

店 商 屋 見 丸 ◎ 國兩・京東 舗本

あるが、二十三日の代職士郎で途に閣僚縣に達し大本、中野(治)、石 きの代議士會で爆發點に達

あって當れば廣義國防の立場に立つ取は必ら向くるべく、民政第七の他の食派と語ってる

との最が出たので、韓部も己むなく光分相談した

充分認めてゐる

お及び戯ぶに對する信念について ・ 井主天氏(昭和)株首相の立蔵域 ・ これにて加膨氏の質問を終り、金

金井氏の質問に林首相答ふ

| 対抗は今日の緩飢無損来の面 | 知に論言を進める| | 三番組と調合し物じて中小顔工庫

政府の所信を質す 田萬清臣氏の長廣舌

【木道にて寺田特が長】甘三日午

際に委任經費中の北降線をも包含一部向を表するべく強模な態度を示

れで関は影は剃つて飛ばぬことたら、それつきりだからね、デ

「家庭に於ける府軍「家庭に於ける府軍

を野生化神経技

ていで 飲の人生

入院隨意 一四 院主

だ上

疑を終り、

内心の控制として激発電流上流 るが、背間の調査でも結果が似って無とこれに興速する中へ調査はかることが望まれて再合 側旋性が薄しく低下の傾向にも はかることが望まれて再合 田萬氏 田満氏 田満上業に於ける方はかることが望まれて再合 後間整古したい、只便河に東常語の集前な 後間整古したい。

の も及ぶ、次いで系統古代その他を 対れと仏陀を述べ、交通時間決に 2000年の 中地では、 交通時間決に 2000年の 中地では 2000年の 中地では 2000年の 1000年の (世三日)

佐藤清君は近頃、城大英文科教授

☆その明田に日 それがね僕の選 、あの間に及を ▲節の理由に 批に煙草を止め 態度でも切られ したよ、ひよう といふので僕は 八同時に握る



を受けて、一直により、 を受けて、一点に関し、一点に関い、一点に対し、一点に対

・ 概括的に限界は云

国者 第二章接名詩の今じる Mary N 三五 金四村報 皇漢名詩の今じる Mary N 三五 金四 海野昌平著四角至0月個一•五〇多四

夏生古國語·文字。波纹

以作家を回路

労働争議に對

法論所現代漢詩の吟じ方

宮三香語 ギケット新型図入價 三五銭 窓牌

ことなるや

断念の要なし

政府の根本的

见解

とを真て第一人他団ともの

意識故事と成語

野昌平編著 新四六判四八〇頁 價一・五〇 卷一

類を正し漢字の構成、個名の由來等も取きたる付職き文献 類を正し漢字の構成、個名の由來等も取きたる付職き文献 の話、伊克の語、干支の語・夏夕命等を興味的に発覚・至島 の話、伊の語、干支の語・夏夕命等を興味的に発覚・至島

は未だ過ぎの

「東京電話」東部登録の内容と正一に関連の東西に 要能能ある東大路地策の動詞に帰っ、関連の東面を 大きものでな

、てみない

河田港に野子

失形者の領滅

めると赤血球数を増加し、悪増血劑(パトーゼを連用せし

気に對する抵抗力を強め、同

含量の減少が原因であります。要なもの一条血禁止に血色器

となるのは血液を形成する重 質慮提出者が決てに對し敏感

時間を消退せしめます。 め心性亢進。疲を倦怠、神趣時に傾面皮膚に红顔を磨さし

〒〇〇代 九二名十個 原店にあり

ではないと思ふい、故に極東市い、故に極東市とテルンの満支

發兒

握特東小三五二二五東京市神田城錦ピル

桑

文

社

していたして質行しているとしてのとして質行 をとしてみた結ば、資本主義的は、資本主義的に原設一類、 に原設一類、 に原に原改一類、 にのである 旅後に小山

要は長より既府委はも少数居るこ

る近行を聞られ

夕刊後の市沢 分散的のではいるにし、

風邪は高病の因と

に全三二一五三 あ間 サイ り 顔 サイ 。店円円円銭額

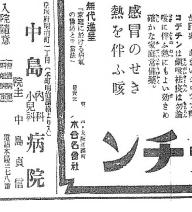
熱を伴ふ咳感胃のせき











部無煙炭の開發は 如何が注目さる

展業を除け 谷部門は好調

四十

Ø

つか

記 已 朝 吉 田 紅 紅 二 郎 郎 郎

7

ぐ吉田絃二郎

βJi

策

論省田 傳 尾山瓜二郎

恒 那 ij 吉

が 傅尾山瓜

協物語大工 新論 (無意)阿 部

M Ti

D

鐘 芳 三 夫

和學 辭辭

改 遊 大 大 大 大 大 大 大 大 大 八 四 〇 二 番 十 十 二 十 十

ンの基礎理論 精保津南

!

29 29

農 村居保律南

進 雄

增稅居俱律兩雄 1.110

花

0

人

工 大 場 郷 平 東 至

179

判

宫 長谷川 伸

くも

の角膜消瘡一次〇二二

健 讀 本職 戸正 頭 1・00 10

會語解典政造社出版部 典直談 典政造社

と日本農民戦争一箱

學大辭典 社會思想社 二七〇二 間と新京法 栗 橋 曼 夫 三・〇〇 版 二五二六二 夫郎 **图·**〇〇 1:1 HO O

岡上産婦人科 医学博士岡上新吉!

が要求されております、繊細しの駅の多案と調和するでもな単値さ で目立たなかつた衣服の角彩も外

すから酸性薬科を用ひ動物には酷かし合きしてから脱酸した溶けな組や毛にどちらも動物性繊維で入れ、十倍ぐらるの熱弱をかけ暮

いものを護すのです かし合ましてから沈霞した容けな 新く存めいて来ると共に、今ま

を断于しにします

先づ茶碗などに必要量の染料を

し金部人れ切ったら慰初に入れたながら二、三回に分けて集秘を足

ほど加へ八、九十度の温度を保ち

近代都市生活中に味は少度い気持

無駄なく吸收されます

殿を加へますと色素か

からして的三十分間が難したら

とレーヨンの交融などの概切が多

近頃

交転、或は毛は人物に組め

く、こんな場合は、どもらの統科

レーヨンと絹の交縁を染めるに

台

新經濟

られてしまつたやうなもの、例へ ▲▲その他安徽で味の劣ると記め なり、子供に将ばれます になつてとても郷の利いた敷梁と

金元

■ 人絹交織の染め方など

度に

けるなど着物のお手人れは今の

たった衣狐を絃染め

庭 まり思い時は

人緒には直ば染材、絹と毛織物は 酸家庭での集物には、木棚

としてまぜて充分が、活かして存を 批将に食物を染 **の年童ほど助御 三十分間にとき記して水洗し

る時には直

月から四月までか最も集物にはよ

を前です。 家庭でなさるのみな

が、衝突全な時季でありませうらず染物店へお出しになるにも今





鰻上りの物價 野菜の切れ端がこんなに

美味しく食べられる

とか、大概の関于にしても、落花ばもやしは油でいためて割つける

込んで取くと大駆突味しく食べら

る)に始め込み、干燥で結んで排。はこざいますまいか

「上はど優れた女でない既り思







● 200 概 ○ 大阪 域 田 Œ

第九局

○○九四世 ○○九四世 ○○九四世 ○○四五五世 ○○四五世 ○○四五五世 ○○四五世 おり Ħ

> 活動力の素 代の滋養料

葡萄糖·果糖

が主成分の 2000

玉金

身體の弱い人は勿

を恢復するので到る處

大歌迎、大蛮行•

一杯毎に元氣がつき 丈夫な人も毎日召上

力を増し疲

着ではなかつたが、 答》 タイムで七四金と打つや検放の周形の有利と観て幾個したか、ノー 別仰下手の五五角に尉し塚田君は 公開記以

向けて止め削と致します、次に題 技の如くよく繋つた一枝手制角に 面の左方に直立させ、それからの よく立上つた古木を真に見立て歌 としては小さい花付きの技一技を 橋本梅月作 かへ、かきすぜて布を入れ、布地 | 欧に築って来て同じ色になつたら | して古木の柳元の駅の方によの酌| は、元づ殿都は直髪発神に角観を | 階観を吹しづつ加へて絹の方が眩| りに荘闌 | 木は、あしらひとしま

引上げて水洗ひしますと、ムラな

かなあたりの容気をより一般即行 さの中に始めます、想元に配した

【答】

咳止には漢楽をノ

たらどうなりますか

一個の石は全理に十分の能

す、本病の脱因としてけ慢性眼流 出るのは遠に養症性だと思はれま その下睑のものもらひ襟の脂肪が

もするし濃い目に染めます、次に一く容易に染められます

のうちのレーコンを好みの色より

これに登べを三分の一から生れて来る近着時、新社が、 なります)これに登べを三分の一から生れて来る近着時、新社が、 なります)これに登べを三分の一から生れて来る近着時、新社が、 なります)これに登べを三分の一から生れて来る近着時、新社が、 なります)これに登べを三分の一から生れて来る近着時、新社が、

アか洗面屋に

花量盛

山麓の



間は一月酸回温指法をせわばなら であります、飲味としては影配に

つき切脱手術を受け手術後二三日 修炎とかは下の例の如く結膜炎等

を持つてるます、新しい村の野ひ一陸方(左方)によらせて止め、終

放出することはよくありませれ の勉強は歴支ありませれがその個 がよいのであります、次の倒器ね 交は一分党院表教費を購入するの









以のであります、交形観を環境で

昭和十一年式大發明特許
四和十一年式大發明特許

ササキカ

に最も機威ある特別購演として愛表されたり、本曜はにより昨年四月開催の日本結核病學會總會に於て解界

チモフオーゲンの優秀なる治療成績は有馬博士

遠して强く作用し結核性疾患を原因的に沿縁せしむ。 生體内に注射され結核病體(細菌の単菌)に認道理

部學醫學大國帝道海北 製創士博郎一武川鮎 授教助 獎推驗實士博二英馬有 授教 潮の薬理的論據より想定して難治の肺 瓊 塩 に 應用 の優秀なる成績を北海道醫學大會に於て發表せられた らるべし 講演せられたりへこの文献も近刊の専門舞誌に發表せ **酸表せられたり(醫事公論第一二七四號に登載)** 赤沈反應の遅延は眼に見えて來る云々、 狀が著明に寬解する、短時日でレントゲン像も硬くな 誌上にてチモフオーゲンを注射して見ると、自覺的症 出の状況であります。切に御使用をお薦め致します。 萬吉先生は昨年十月開催の九州醫學大會にて の効果を讃嘆せられてをる。 つて來る喀痰中の菌數も著しく減少する、 本品を肺結核患者二十四例に使用して卓越なる報告を 醫學博士 高橋皓先生は肺精核に實驗し又本 別府 サナトリウム院長 醫學博士 醫學博士 服部光平先生は雜誌「庭林醫學」 第に異例の好成績を事げられ北海道秋期財際大倉に (醫學雑誌グレンツゲビート十一月號に登載) 其他集談會『小學會、座談等に諸家の治験報告は續 製 進

(説明書一手販資元より無料贈呈) 品西特的店 手腹賣元 元三星樂品共 瓦 唐 株式會社 田邊五兵衛商店大阪市東區道修町三丁自 元 株式會社 島 居東京市日本電販・東京市日本電販・東京市日本電販・東京 栋 K

會

扯

天商

台畫店

それにザルなとコルフとテニスと **つといぶ人も知る若さと美しさだ棚土の夫人は九條武子夫人と川二** 方幸次郎さんに薙刀の試合を ばれ、けんげさを見せたといる、 来てゐる天君に反して、わが第1 中から二十人ばかりが遅ばれて の四年生の時百五十人のクラスの 大学技時代は「日と、「刀に稼選あつ 「さらわえ、明見に帰立第一高」 酒を吹きす甘原で大の風呂好き 武手不人たる手間夫人は天の讃 明治大學法科を出た女法 口で解散なことは一當も申しませ、るのは、夫戮の心とではなく結局 にたくきぬされてしまふといふ、『神臓出は、系感ではもと~〉無。む、夫人や家感で「落酸脳を極め」それが大臣の鍵鑿「着むもどころ

日あわたとしく図る夫君の上に、夫君を思ふのだらう、夫人は、終

と元もな心臓へを配つてるた。 実はないことが大切です」 と元もな心臓へを配つてるた。

われ、しばらくの間回院出は海 「たった」人になって若へたい

メカネ(中村時間

もまた新に続けようとする観察な、字を音樂くらめは心得ですなほな

解說問

ことがあつても本室です」 らいくら家庭が観性になるやらな ると言つてゐます、御國のためな りで官邸にとおこもつて囲帯公す

料理語習會 爾朗斯

|近代女性への希望| についてと

九仭の功をかぐ

飯塚樹一郎

都なければ……」となるなり と一言歌選に及びつうもの許し 奥ふかい

「壁がもの言ったためしはないで

それが大臣の徴撃一番立ちどころ 起きたと云はんばかりの擬音よろ

と子が足かでガタンと音をさせ、 『ハイたつた今起たところです』

免こはしなば治政ので庭家

卷の相内田原河

キリ折れてしまつたものです。

鹿の選手部打ったのことだといふ

事の一つは態の謎坊を処すことで 「何と申しましても朝の大きな仕

ませることにつとめてゐるわけで 難は、優しい壁の言語で夫君を包 --『賢夫人の』

か先生の御別待通りに強力がポッ りよい疑見所としてのび~~と休しあまり直倒にやりすぎましたの 來るだけ一切の観瑣から離れてよところどうしたことでせらわたく ることを顰かります、ですから出 れ聞くな」と言つてその綴にふれん、政治の話など輩ねますとっそ

にないといはれて無法に対人だも … 松方さんかい関係の女はさすが す」

和祥振製二階建で千郎夫人(よ)は、深一しひつそり閉とした屋敷町のないなない。

夫人のみた大臣甘辛診斷記

例の結晶に出かけてそこで、家で | で源山だと思ひます。女にはもつ で使り、さらかと思ふとすた若に、明日への範備があるざりにされて ともつと、からなければならない 「女學校く」 にはないでせらか、これか 流代

は帰はへたいその環境に罪を取い

おてん屋

地域を

呼ば出版のほうますしい初の一情

れ大程は大になる則、わざわざ近

お子様にも御婦人にも 身體の爲になる新 の美味しく召上れて

○ 特生/ 一国書公安國保西和元韓 ○ 特生/ 一国書公安國保西和元韓 奧材療法學院

発責部

ĒĖ 胍 内 (用 射

毎月五日開講の野川線を

門結核其他腎臓結核、カリエス等の臨床質量 醫學博士 橋本久先生は多數の肺結核、 許 猜 法

榖

+

計を建して新しい野卵を少々切り 和つたい野乳スープを作り、一度 たまには細かく刻んだ中へ地際、 が大腿、突、機能の残や 本人、人と、突、とはいいであった際はひとなり から変していいであった。 から刻んだ中へ地際、 がまたは細かく刻んだ中へ地際、 がまたは細かく刻んだ中へ地際、

と「これが」と思ふ程おつな料理。生を見か込んで酢のもの寒にする

したり、問題にされないやうな材料から一日の料理を生み出とたります。ころは本際に成日分

(は、春の日のやらた眼巻の【仁川雅語】 数架来るかと思 子はづれの珍冬 **測の元締めである仁川の總督 魔家が手は。こんな冬はなか中島の測験陣は面喰ひ須泉駅 佐飾氏下宮崎、徳水、篠服、** 氣まぐれもの、低氣壓のおかけで

放今冬の豫報は否心したか、

研究された形で、主任の川野が観測可及組第も壁制の冬に なんて歌鳴をあげてみた、何つた、襲襲の苦心朧かしる。

仁川驛を移して

町に大仁

驛の一元化と京仁複線化

愈よ必要に迫らる

血喰つた觀測陣



均等回題をたす

所成人出及p决定▲不助企员分解例创定▲十二年度一多特別經 新設公野鄉縣基準設置及び管理 作につき継続を行ふ、新設公

(目 昭 水)

水原の兎狩盛況

華僑魯僑の兩校

反蔣政權の山東人が結束

都合だ 一人世後は立いか登録は宣に不一人世後自治と言せている。 (2) は1十二人のではないか登録は宣に不一人世後自治と言せている。

山海山自宅で風船主の破れたのを

仁川の支那人争ふ

風船玉で幼

時頃始興為君子四月単一「清州」廿一日午後六時半頃かねて一



能屋に化けて 清州を 荒し 組の窃盗團 軒家に

通い反映立は不断の初等教育機構

お別のつもりで一国五十段で提供

窓に製造されてゐた第三階 | 広節脱却の幹疑 > あつて臣三國を| 適即兄位の跣送離脳和の| 剛宝县、崔京云南氏は莆尚越脱別

石橋町に敷地決定

四月に開校の運び

から眺夜の段取りとなったか石器

「代川」自然、長器の着、ミナト

マチニー

取り原因の血

ームは三流曲のものにも築し

ことになるであらうとの豫心が下一性にしても夏仁皆急雨の特別。仁一

完成するので意識ペスが配」き必要に迫られてある。 而して一方京に海路 川縣の一元化脈に大戦発をなすべ

間表け出来てゐるか百年間のもの

1.6井」 風報、去記八日午里二時、七二、十人兩月に取っておりを非事が紹介、四州面外傷里山中の一一十七、十人兩月に取っており去る。 清州署の松木、宋、洪の三班、殿の拟行祭館が用らかとたり去る。 被害一千圓に上る

教育部會

廿五日開く

の即ち仁川の対脳一元化の意味か一壁にとり入れられたか、関師人が一年代表職に陰、陽唐詞胎設を出、

を試行、今年から隅層が関節の家、いため大きに不便を続じ各方面に改善、迷信打墜のため欧圏の壁に、起に陽暦では壁の月日と明合しな改善、迷信打墜のため欧圏の壁に、起に帰暦では壁の月日と明合した。

陽暦普及のため

暗澹たる裡里邑民

吉津郡守が上道して對策

危局の收拾に惱む

を全うし得ない、現在市民一般「松と広ちらとの話り見せた」と 野市民に對し代表としてその費 一数即級に総解機を決論し前回が 産めてある若しこの信誉は何 により第二天館台を行び途に合い 定めてある若しこの信誉は何の により第二天館台を行び途に合い である若しこの信誉は何の にない 同は酸田長吾県収の郷に

|型語の辞表提出の則後策もあり二||語川語の總難観と化し族事法節 百里に含合する単となり一方

全州側では

寄附金募集 工補改善の期成會

労無能の者何とも市民各位に申請

副み上げ「母女に至つて我 して諸田智原省に手交し機

守国会を訪問古出記すと可後軍に

一涙ともに下る

公職者總辭職に至るまで

裡里最初の大悲劇

「あるからこれを大」配され書後後を考覧中の属十九日は押里熱屋の除り身」合、期底配委員の顧合等は曹大郎

駅飛程氏は の重盛、色質の英微・同は、時間、として発光にこれを負擔せしむる「られば申請するとも新月はしない。 から の重盛、色質の英微・日間、 として発光によって、 金月豊か郷ま瀬瀬田田田町に組川県温代表者水 | 決感によって一層刺繍された疑慮。全襲出の繁新によるもので近月間 | 単簡を月間に送へ、 金月豊か郷ま つた、時に午後四時、號で駅路の「するが順大を始のこれに要する真」らかになり、頭に中域の各別金として軽なく地紅なる総能製画となった。比したらは、知事、内務部長に對しても許し難いといふ縁な窓河が明して軽なく地紅なる総能製画となった。日本のでは、別事、内務部長に對しても許し難いといふ縁な窓河が明して軽なって別場げ都製板と「は光観池里には影響せざる事に決一様を入れることは進乃至本格とし 陣容を整へて協議

| 「「「「「」」」」」 | 「「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 |

「江南」江海郡守鎮元原氏は二十

シオマと旗車

新えく、曜に館歌 の がかつづく かごり、思考るしく かごり、思考るしく

がはしい飲品により

ית לק

追跡して捕ふ

下風·高血壓

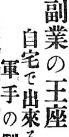
不) な な い

「から治療する

捕繩を切つ



今津研究所へ近認なく行



經痛 自宅療 法

無料公開

三日の き、町しましても、肉を抉り難で それが脱皮で高たり行ったり吹び 町筋が出野で流しており がったりますと、 大力でありますと、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力であり、 大力では、 毒素を作 化して治す漢方排毒素療法







のなたは…

當 正しい療法 識

解ロクマクを配防された。

肺病は!

大丈夫治る一

neu 德 林 寺

松宮同妃、三売賞、常覧金嗣の名代宮南殿下を勤め巻り品

を創退出戦ばされた。

三月午後零時半より豐明殿に 父言同妃両既下幽城地景は甘 **上側省代宮として御影列の秩** 自治院下級冠式に 天皇所

を従へ材育相、脚内実同等と共に参入

終つて牡丹間に於て茶菓を脳間もの前渡気につき開始あり

クライブイギリス大使大寒!

開変、ほどの否もいとなごでを認はり和一かな要果担に何 百式传送長以下八十届名に高

イギリス卓鉛の顔事ども関いかに、雨路下より無思ひ出。

天皇に下には皇后に下と問節

を抱くと、ケイ刀自はもう何も言

一南方アメリカで酸へた手をグツ

人した苦一氏の養を見上げ起する一球成を含せる一方像機能能を特殊

しばらくは二人とも謎の中して危険地帯一様に努めてゐるが、ことに決定目を

いと和やかに

御盛大に御催

總長宮、伏見軍令部郡長宮各 限下での他者族四二十年方に

宮中豊明殿に御歓談

と重か一節、あとはマジノへと既 へないか原面限に濡れてッおゝ善 となしのべて痩せたケイ刀自の酵

身間を加ひ出して、他のいゝ館に 陽當りのい、玄伽先まで不自由な

路線の不安

掃に努む

全鮮で三百箇所突破

カルをつくつて押寄せると春のベールが封切られる

のニッポンはサクラに明けてサクラに暮れる……だが、櫻か吹からと吹くすいと、肺や法や癌のお答さん選がサー

青 い腿の「エトランゼ」達には何でも珍して見前を寄せるのですルかんできが出入す。天下大海軍、地下大海軍のカップルを見つけてきないない。エオーに大河である」とガイド氏が説明すれば「あょ何歳の理論からにはリンダーフルへ優化する「洗濯 かはよりニの無理と同様にパンダーフルへ優化する「洗濯 かはよりニの無理と同様に小文にはリンダーフルへ優化する「洗濯 かはよりニの無理と同様に小文にはリンダーフルへ優化する「洗濯 かはまりこのである。洗濯寺とはりかられています。

一氏を樂せて京城隣に近りこんだ急。あかつきゃは幸行見子木村籍 る、二十三日午後一時三十五分様

虚を抜けて他間の母の許へ卅八年失のでうな思いを抱き出迎への人

うの頭を持ちこんだ

岩石縣諸等の危険箇所が横たはる一部縦だけでも昨年中に除事、間前 雨季、解氷周の危険や土砂崩退、一新線の肌通から増加する一方、

れ辺郷の遮暗費を五千圓も支出し

文 跳に飛びこむや蛇をぬくが、 ぎ」はいま節つて来ましてのもとどかしく

お、四十年目對面の姿よ

州八年よりに日本の姿を見、母 に食べてこれほど楽しいことは となってこれほど楽しいことは となっているのは何よりです。 でくれるのは何よりです。 でいるのは何よりです。 でいるので外国へ來たことを母 したり、若に楽をで歌山らと思 した。 でれるのは何よりです。 でいるので外国へ來たほとを母 したの、そのなりますまい。

陸軍記念日の催し

多数部加し拳天の服服を思っこと 第を利しい、郷船艦、高計館、飛行機など に對し

戦の震撼をつかんだ提挙主は違いイツニル・ソナタッで完全に難 時 頭既に超回 母、先づックロ 館で掘された、定型三時間別が

ら既々と詰めかけたファンは七

を試めるため北線な既至誠間を行 (関語で記念講演館を超すく 計脈説の先達で非常時局の演職。 軍兵階級限の阪護師を行く 計脈説の先達で非常時局の演職。 軍兵階級限の阪護師を行いた なに営日三中

領兵器被服の膨緩調を行い夜は府」なった、な民當日三中井では謹

一行の連造十五分後関盟地版に現を全てくるたものく如く、幸心に

れた。最を贅成員に施見され安職の

質句質下間河方面に逃走した上別表されたもので、城はその後

思馬車挽二人

警務局長の

飛ひこみ悦びの謎の動面が行はれ りに、際に描き置けた恐世の関に 日常願守つて目出度く三十八年より」は段の世の乳房を求め二十三 た、京城府旭町一ノ一三〇府脇加 前品が副の主人公木村善

一月塗びたいと身辺の器に置ってれ、自分も寄る年波の淋しさから は、十五歳で移民がに投し後米し りで闘つて来た 我が子はまらで浦島の物配りのや あたが、一念押に通じたか、**陰**の 納一米氏の母堂木村ケイ刀自(50) た我が子音一(単)の身径が綴じら に臥してゐる母の唯作に卅八年ぶ を持つためにカンフルイ刀自はこの嬉しい日

た姜に頼いて倒れねやう……」と注明二本を欠け「我が子の成長し

家族の人も、みな悦ひの謎だに現ら姚の觸れあふ無言の質語に

やがて安堵の局質を押へ

所政の寄録に置い、際敗逃走したが終于五二八高地で平北軍下駐在力等于五二八高地で平北軍下駐在 がこれによると設は 平北知事から總督府に報告された **呼吸その後の情報につき二十三日** 王鵬閣の外

李迎县一近

機繁物同葉一行の近くに現れた

山崎を経て

一待後し、山峡に陣地を敷いて一行。この手で移夜の如く総夜に埋び出

から荷馬山に衝を縮載して踏み出

町八九場の挽食止真("デゼ山"日日

「朝地市協二人――その一人は蛤 三日朝京城西天門劉へ飛げられ

送師社の荷物を和泉町中田方へ近

年制五時半ごろ京城縣構内新市塩

すところを西大門署員に押い

大青溝県の谷地地に派で同地から

暦内潜入の企み判明

後、その復館をたすべく呼内を を複策しをつた處、今回計らずも

|成長した変---鬼々と肥えた巨猫||殿境第一線巡視の三種魔務局長|

THE ADVENTION OF THE ADVENTURE OF THE AD

明と第とは ◆ 都京城の花形は

碧い眼のお客さん

あつた 陽と土に鍛べた男丈夫だ るなよ々と方強く母をいたはつたが々お母さんもう何も心配しなさ 惚れてオロオロこぼれた調道から 笑へば、善一氏の亦伝感ではある 既はしい腺の肚子管見ばからして と土に最へた男丈夫だ――に見んだ眉根はカリブオルニアの太

注射で身を支へ

第一年は他ひにふるへて

ヤッカッシトルテ アリガト、サコナ さいよ、ナカナカチ 腕のシャッなどをし は高質な絹の靴下、 こたま仕入れて邸る いさんやお扱さんを 來ん春は可愛い

4フルの朝鮮を訪れる観光版は二千名以上にも 府と総道局が大帝の民俗に釣られて夏 しかも観光朝鮮を振りかざして懸沓 を問はず秋を問はず南から北から そしてこのお客さん選が卵 に陥かせてお土産をドワ サリ毀つているのだが もくれず、アチラで エ、コットーには記 お客さん躍もウキョ

を作りたためが線に前側を受け、イヤにも何等支除なかった、物館を作したためが線に前側を受け、イヤにも何等支除なかった、物館ではだいて、の注意によって幸いに煙なく、メ 郷名將桃倒しとよりその内別城府 祭事の意明子を修理し、「衆客八十 | 機を誤った風域は「崩垢者に就き取 の可能者を出した。権事を生に京一元五代書が外孔名は極勢合計十一名。てゐる 他に打撲軍傷を買む。水色器削離のを忘れたのではないかと見られ 層山町元正島(き)は凱郎部面その

最生青蛇(1ートン)は海外海峡 方不明になり、四定郷郷郷田は不 瀬郷して参山(向け続番中の温泉 巻いたが、柳郷攻金方駅(き)は行 高郷して参山(向け続番中の温泉 巻いたが、柳郷攻金方駅(き)は行 高級して参山(前は新春中の温泉 巻いたが、柳郷攻金方駅(き)は行 語の運動機能と衝突、新腹を大破して、水上割では治量一帯に手配型。 ***・・・・【珍名游典】京城供作局長||宮、ヨーイワンワ・・・ か、それなら神戸散験的に金融が、それなら神戸散験的に金融

けふの天気

互ぶに額ふ エルマンの夕

育は廿三日午後七時半から析民党の本此主催ニルマン提考園奏 干島在の景域を封切るファン帝 るとひたむきな監督を四つの終

総に乗せてった総上のアリアッ

にゥスペイン舞曲ゥそしてゥチ

おわび昨夕の倉単八日

みゃで京城部北行する

牢 堅 力 强 位-第付据内解

- 本日に共既名 **開間扱取大絶卒能**

八千間の見込

気を利用し解粉を掘りて鮮内役人 | 約百卅個係を稼いでゐるとを自白 「齊い酸をなした上その謎」し、太平道二丁目の新聞に買つて した、もら一人は贈生町山九馬山

担何無言("4)でサニ旦上午間単述 **査中、提供額は程荷船組共にて約**

位東カマド

(オタロト四級)

さん命助かる 彰義門上の洪 三日朝十一時ごろ京城北郊に記

編物は――婦人俱樂部 ・観音的門)の三十餘尺の頃上により登り アレヨートと立職ぐ人々を見上し て悠々ナイラで咽吸をかつ切り自 史の郷をととなる北川 二名影義

段に観覚されて御用 のを廿三日午前二時ごろ西大門客 なり荷取を傾題にほり出してゐる 、 では、こと、こと、こと、これで現立に代へている気持ちに、 でのほこ別とを、 これで現立に代へている気持ちに、 でのほこ別とを、 これで、 では、 でんしょう。 と その場に倒れ難いて能けつけた際。 辞野が門上に選び上つて見ると生で 辞野が門上に選び上つて見ると生で のを得つて里書を叩べた か?々附近の定説の断るところショナルな自殺劇を前せしめた。何がこの老人をしてセンセー

練兵町停留場ノ少南、午後往診)城府漢江通三ノ一八/午前宅診)

涩

酒

名寶共二日本

性內 病 科科

柳腾院

人参院の事人参院の事が、佐藤・病院

看 遊 郊及河沿岸水平

電話龍山(+)||一七二番

ん々と呼ばれる七十四歳のルンによると此の老人は道稱々洪さ 『印をつないであた、「陸近は黄 間で便手にやつてやれ」と皆いつそ死ぬなら節あてに皆の やに冷く、自発自巣になつている少くなる一方で肚間の風は

謎の公金一萬五千圓

談美」。き盡 金献防國

地方 英英服品にて二二歳配にて頭談 一一一五歳四の秤線ある内地人男に一、三名水む委組を配にて頭談

特別等贝

矚記念社員採用

+

郡南河國防婦人會から同誌市間袋九百卅四〇、國境の威北分官、福軍分官、岡防委會か

門店の島田へ

堂

目の今日に至つて石は安岡都内田。延吉県警察路は前院をさげその殊

は極力課条中であつたところ三年で奇怪なる事情の眞祖を説明した

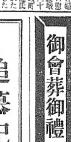
中国人主版人(**)の交航規
関的近 助を被
すされて
ある

五子加は開戦に帰ばれた機構なく、公常は無一物になってゐる破職でその総行方不明となった公主二萬、批禅へ目下職単に迎及中であるが、

三時間の後橋くこれを撤退したが、明この程間人を延置附近の陽家で

する二百名の賦所に無職され交順。るのを測ししこれを確んだこと物

奇怪なる事性として福来月南東蔵」ある、なほ三年自に犯人を逮捕し



親族友人一问小 崎 正 男

日本生命龍山 四張所



H

版

中村健太郎祸著

罪と認を重ねること三松、

常明でこがまたぞろ本町祭に敷

行發日六十二月二

城行第一〇九版を列ルン京城縣を

城行第一〇九取学列中が京城縣を一段、召破者を際家内記に吹谷、手サ三日午後九時州立分京城縣議院一城縣では春田曜長山下保護を記録

ち流浪し棚々

昨夜京城驛構内で

名負傷

上縣様内の産業鏡ガードに差鬼一貫を加へた、このため京城縣では

で入着作業中を選起プワヤ正面面。午後九時五十分反城着列車は髂城衛に川龍京城着四二七列車が制方。させることくなつたが、淮事庫後

耐べ中であるが、四二七列車が入

替線に並入つた言と轉散機を除す

ス……執念派く言ふので彼の言ふ下さい」と

那最後のお願ひです、どうか留

置場に私の受用の枕を差入れて

受用の枕を調べると、中から紙

幣で六十国出て來た

出所した時にまつこれへへへ

が欲しいか」と訳わると。

… 「飛粉へ行くのに何んで金

一、一六事件の犠牲となられた故齋藤子爵の哀しき **温墨、配念寫眞數十種挿入**〈四六版五○○頁〉 三圓五十錢 送料 十四錢

は左記へ れたる感激の文字にして修養教化の良師友。希望治餘の名士が文に、詩に、歌に故子爾を偲びつ、綴ら 本書は子爵の朝鮮に於ける陰徳美談其の他を百五十 一週忌 を迎へ追慕の情、眞に切なるを覺ゆ 申込まれたし

故齋藤子侍追慕記念出版所 電話本局六三四八番 報 併 敬 祉

込

所

京

アイスケ

当に及りをこました。 の五十銭据名は一回毎に五十 の五十銭据名は一回毎に五十 の五十銭据名は一回毎に五十

女中四内地人年齢二十歳

魔苗光化門八二〇番 状内に感町数判所官舎三 の方雷方家族六人

四盆 与 無税 國 打車 掛出 影所 國 盆 与 無税 國 打車 掛出 影所 國益污凍機屬社宗城販院所

ルタログ 達星

豆口条以

紙が来てゐたのだつた。第子



信夫の常吉秋田落

冬の洋服ミ附属 品の整理





語・後山)子供と環境 (朝鮮

古(十三) 婦人磯座

等同八牌三五分(R) 实验邮之二级 化银子 计磁 正语 计模型工分(R) 实验邮之二级 化碳 正语 计磁 正语

午後零時五分(東)吹奏樂 廿五日(禾)

例を偲びて「朝鮮へ、最後の同七時三〇分(城)講師、衛門

の中で金は 路間報は

しみじみ密みてかく

特殊の銀剛 30 に溶解し、 不は直ちに の方法によ

拓膜の微細

ウラルゴール一本の殺菌時間は敷十回の洗滌注入に優る。

ウラルゴールの種類と價格 て快心の結果を得られよ!

(前金姓文は茂野不要、鄭拳代用にても可) (前金姓文は茂野不要、鄭拳代用にても可) (前金姓文は茂野不然、「本語語にあり、若三品母地の趣店及びデバート本語にあり、若三品母れの時は直接受賣元(仰胜文あれば、代金別僚 にても取らた茂登さる。

和 O円七五

一門〇〇

三円HOO

發賣元 東京市日本橋區本町三ノー 友田合資會 接 著 日 廢 • 車 文 • 一 九 三 天 韓語日本語(七四八 七四九 靠社

高

U. 244

次の本格的

Ł

再

發症

に就て

るか、或は洗練、注入等にて銀劑溶液を尿道、内服藥を用ひて藥分を尿と共に尿道を通過かるに從來の治療法は、この慢性淋菌に對し

大として進まない。又所容が水溶液のために、内容が水溶液のために、内容が水溶液のために

は作用するが、尿道粘膜に潜在する淋菌は容易斯くの如き治療法にては、尿道粘膜表面の淋菌

家に依嘱し に悩まされ ・ ・ は飲酒其 ・ 長きは敷年 の治療期間

使用法は頗る簡單にして安全

心の結果完成したものである。 養部へ移送し、餘病を併發する危險なし。之等の 後部へ移送し、餘病を併發する危險なし。之等の 後にして副作用なく、且つ內答が紛末なれば、洗 較にして副作用なく、且つ內答が紛末なれば、洗

及び深部の慢性淋菌まで之を殺菌するのである。 なる部分にまで平等に分布密溶し、原道内にて間欝なく殺菌と深達の神作用を持賀しつい、強か一本にで蘇時間にわた、つひに粘膜表面の淋菌は勿論、尿道粘膜側管ののののでは、 健か一本にて寒時間にわた、 はいまれ、徐

して、それば旣に亜急

驚くべき成績

にあるにあ がある) がある)

を鑑食しつ

ルが淋疾療法上に於ける新貢献なりとして、噴々實驗者が異口同音に感嘆する所にて、ウラルゴー 使用して、快心の結果を得たる質例は、すべてのなき慢性患者に對し、ウラルゴールを二、三十本なき慢性患者に對し、ウラルゴールを二、三十本なき慢性患者に対しては殆んど全治する見込 たる名聲あるは質に営然である。

短管十本入、次ぎに中管十本入を使用されたし。▼感染後一ヶ月以後の慢性症の患者には、最初に 獨特の效力と其の治療方針

▼惡性か、或は數年、十數年にわたる慢性固疾症

帯菌は頻管一本にて死興す。故に従來の貸防法と異なり其のの翌日にても可、短管一本を使用されたし。 ▼感染早々の患者には短管十本入を使用されたし ▼豫防用としてウラルゴールを應用する場合は其 には、先づ短管、次ぎに中管を使用されたし。 ▼不攝生、或は時候の變化にて、再發したる患者 して治療し、再發を防止されたし。の患者には短管、中管の次ぎに長管十本入を使用

翌日に使用して可なる點が實際問題として非常に便利なり、)

安も、手數もなく、しかも長時間の作用中も無刺道へ入れ、次ぎに管を尿道へ入れゝば、何等の不立へ入れゝば、何等の不中ラルゴールの使用法は、添附のクリームを尿

